

区 分	人身事故件数		死者数		負傷者数	
	件数	増減数	人数	増減数	人数	増減数
愛 知 県	46,131	△ 2,818	204	△ 15	57,183	△ 3,684
稲 沢 市	730	△ 96	5	0	892	△ 106

【 愛知県の状況】

平成26年は、人身事故件数は、平成25年より2,818件少ない46,131件となり、大幅な減少となりました。交通事故死者数も204人(同15人減)に減少しましたが、依然として全国ワースト1位であり、交通事故情勢は引き続き厳しい状況にあります。

〔 交通死亡事故の主な特徴 〕

年齢層別では、高齢者(65歳以上)が123人(同5人増)、一般(25~64歳)が64人(同15人減)、若者(16~24歳)が16人(同1人減)、子ども(15歳以下)が1人(同4人減)となっており、高齢者の割合が全体の6割以上を占めています。

当事者別では、歩行者が84人(同3人増)、四輪車が44人(同16人減)、自転車が37人(同5人減)、自動二輪が24人(同5人増)、原動機付自転車が12人(同5人減)の順に多く、歩行者、四輪車の事故が目立ちます。

【 稲沢市の状況】

平成26年の人身事故件数は、平成25年より96件減った730件、負傷者数は、平成25年より106人減った892人となりました。交通事故死者数は、平成25年より増減なしの5人でした。

〔 交通死亡事故の主な特徴 〕

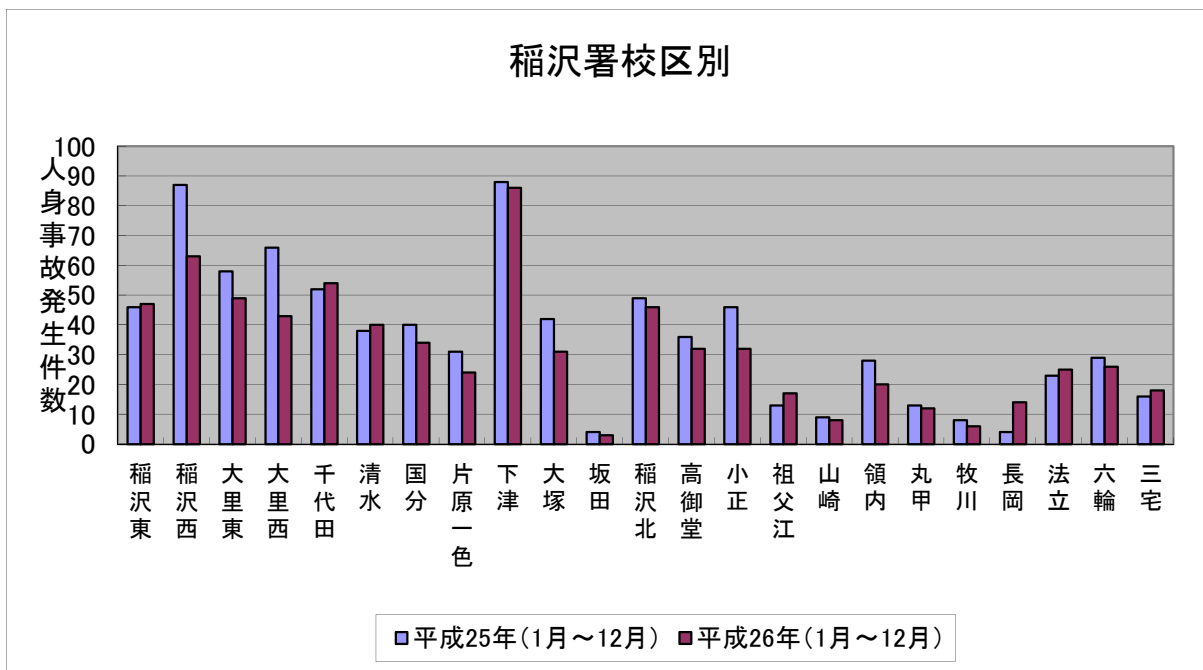
交通事故でなくなられた方5人の全員が高齢者(自転車・原付・自動車)となっています。

人身事故の類型別では、出合頭事故と追突事故で全体の約72%を占めています。

また、自動車相互の事故が467件(同3件減)と最も多く、次いで自転車対車両の事故が149件(同53件減)となっております。

地域別では、稲沢584件(同99件減)、祖父江77件(同2件増)、平和69件(同1件増)となっております。

小学校区別では、下津、稲沢西、千代田の順で発生件数が多く、また、長岡では、前年に比べ10件増加しています。



【 事故を起さない 事故に遭わないために】

- ・運転者も歩行者も心にゆとりを持ち、交通マナーを守りましょう。
- ・交差点や交差点付近では、よそ見、見落としに十分注意し、うっかりによる交通事故を減らしましょう。
- ・全席シートベルト・チャイルドシートの着用を徹底し、スピードは控えめにしましょう。
- ・道路を横断する際は、左右をしっかり確認し、無理な横断はやめましょう。



安全・安心のまち いなざわをつくりましょう。